

- p1 理事長挨拶
- p2 H P リニューアル
- p3 今期発刊の ebook
- p4 セミナー報告

主な記事

- p5 シグマレンズ貸出し
- p6 キヤノンカレンダー作品募集
- p7 著作権レポート
- p8 組合員情報

31号ニュース発行に寄せて 一志を高くもとうー

芥川仁代表理事

デフレや円高が影響しているのか、リーマンショック以降の経済状況が持ち直さないままなのか、師走に入るといのに活気のある話は届いてこない。写真家の仕事は世相の影響を受けやすいので、組合員の皆さんの仕事が気懸かりだが、具体的な仕事の受注状況はなかなか聞きづらいし、情報も入ってこないのが現実だ。

本来ならば、こんな時にこそ、組合員の仕事状況を把握し、撮影を発注したり、撮影料の単価が下がる傾向を食い止めるために矢面に立って交渉をするのが、JPU 本来の事業なのだろう。

創立の時に 512 人だった組合員が、現在 204 人と減っています。私が理事長を務めるようになってから、目新しい事業を展開できていないのも現実です。ようやく形になろうとしているのが、JPU ホームページのリニューアル。多くの組合員から要望のあった事業だったので、このニュースがお手元に届く頃には公開されているはずなので、ぜひ積極的にアクセスして下さい。詳しい内容はこのニュースの記事に譲りますが、協同組合日本写真家ユニオンの広報と組合員ひとり一人を紹介するデータベース、それに組合員だけが利用できる仕事のためのページを備えています。

組合員の数が減ってはきていますが、反面、若い新しい組合員の加入もあります。写真家の協同組合は、フリーの写真家になくてはならない組織なのです。現在、組合員である写真家の皆さんは、いつしか JPU が写真家の協同組合として、社会に対して発言力を持つ組織に育つことを願っている高い志を持った写真家だと信じています。

先日、スイスの写真家と話しをする機会があった際、私の名刺を見て「OhOh！

You are Japan Photographers Union's member！」と、敬意を表してくれました。国の事情は異なるにしても、協同組合日本写真家ユニオンに対する期待は大きいのだと改めて意識しました。

明治維新の大きな推進力となった海援隊のメンバーは皆、土佐藩を飛び出したフリー集団だったことを思い起こして下さい。弱気にならず、組合員の結束を固め、写真界の新しい核となる意思を持ってほしいと願っています。組合員のひとり一人が、自らの組合である意識を持って、積極的に事業に対する要望、苦情をお伝え下さい。理事会は、皆さんの声に真摯に向かい合う意思を持っています。

組合員の皆さまが、良い年をお迎え下さいますよう心から願っています。

新入組合員紹介 よろしくお願いたします。



8月加入

氏名 横田 久弥

現住所 神奈川県横浜市

写真の得意な分野

風景・スナップ・自動車



9月加入

氏名 斎藤 美奈子

現住所 東京都昭島市

写真の得意な分野

美術関連・アート

経過報告

(協) 日本写真家ユニオンのホームページのリニューアルが望まれて久しい。

全面リニューアルで見る側は見やすく、利用しやすく、発信する側は、更新しやすく、管理しやすさがリニューアルの理由である。新しい情報がタイムリーに伝達できない不便さを早期に解決しなくてはならなかったのだが、やっとその時期に達することができました。

6月の総会で、HPリニューアルへの予算も承認されましたが加えて、全国中小企業団体中央会の「組合等Web構築支援事業補助金」への申請により、HP全面リニューアルの目処をつけることができました。7月1日ホームページ委員会担当の理事3名と、組合員1名で、補助金説明会に出席。早速事務局より、申請書を作成し提出しました。

7月17日付で補助金交付決定通知書を受け取りホームページ全面リニューアルに向けて始動。唐木孝治、坂本阡弘、鈴木忍の各理事と志賀直人組合員の4名に、若生専務理事に加わってもらい、メンバー5人でホームページ委員会を構成し、8月1日第1回のホームページ委員会を開きました。見積額とセルフ更新の要望条件に見合うかを柱に、ホームページ制作の事業社であるかを判定し発注しました。

その後、トップページのデザインでの、二転三転の変更があり、予定のスケジュール通りとは行かなかったものの、11月16日第2回のホームページ委員会を開き、補助金規程の完了期限12月18日には、公開の見通しとなりました。その間サイトフローに基づいた、原稿、画像等ページ展開の素材を揃えるにあたって、ラティオインターナショナルに預けてあった、組合員のポートフォリオを返却してもらい、リニューアルホームページの組合員紹介に、

掲載するための作品3点を選ぶ。【組合員紹介の作品の欄が空欄となってしまいますので加入時にポートフォリオを提出してない組合員は、この機会にご提出ください。

3点でもけっこうです。】また、平成17年度「組合等情報ネットワークシステム等開発事業」による「アート性の高い写真作品のデータベース化とネットワーク構築」のシステムの管理、運営についての覚書も10月19日に取り交わしが完了し、一昨年からデジタル販売部の募集によって、預かって13名の組合員の作品への検索の精度を上げるための、撮影データシートの見直しにとりかかっています。この進行状況を並行して、ホームページとのリンクを張る予定となっています。ホームページは開いて見て頂くのが一番で、一つ一つの内容説明とはいきませんが、(株)レスキューナウとの契約に基づく、災害等の緊急撮影取材のデータアップのページを設け仕事に直結し、また情報を取得するに等しいホームページとなるよう公開後も、手を加えレベルアップに努めていきます。



全面リニューアルトップページ

JPU アートメンバーズ募集

・入会申し込み

JPUのHP改訂後(12月18日UP)HPより申し込み用紙のダウンロードができます。所定の入会申込書に顔写真を添えてJPU事務局宛に郵送。年会費(3000円)の納入振込みが確認でき次第メンバー登録が完了しメンバーカードが発行されます。

申し込み用紙希望の方は下記までご連絡下さい。< JPU アートメンバーズ係 >

〒164-0013 東京都中野区弥生町2-41-17 東京コンテンツインキュベーションセンター 2F No.11 (協) 日本写真家ユニオン「アートメンバーズ」係

TEL03-6382-6859 FAX03-3229-3060

Mail: jpu@r2.dion.ne.jp

< 会費振込先 >

郵便振替口座番号 0016-4-629078 口座名、協同組合日本写真家ユニオン

(21年度第3回) 理事会報告

1日時：平成21年10月8日
午後1時30分～午後7時

2場所：TCIC 2F 会議室B

出席理事：芥川仁、若生靖夫、あがたせいじ、
唐木孝治、坂本阡弘、佐藤浩視、
鈴木忍、野邨幸和、古川正夫

欠席：石丸幸一郎、

■報告事項として、

* あがた副理事長より9月5日教育事業部のセミナーの後半での、著作権セミナーの報告がある。著作権事業部長の古川理事から、著作権情報センターなどが主催するセミナー、研究会にできる限り出席して、情報収集などから、組合としての著作権事業への取り組みへの力をつけるとの、部会報告がある。

* 教育事業部、坂本理事より9月5日デジタルセミナー「記録メディア、光ディスク研究会」と10月3日の「レンズで変わる・デジタル時代」の実施報告がある。(4頁参照)

* ホームページ委員会より、唐木理事が進行状況を報告する。(2頁参照) 理事会として、トップページだけでも、web上で確認したいとの要望があり、業者に伝えることとする。

(その後10月20日～11月15日の間2回に渡りwebでの提示をし、理事間でメールによる意見交換が為される)

* 鈴木理事より、アートメンバー募集の対策についてホームページでの募集についてとレスキューナウについて、ホームページが見れる状態になった時、アップの方法、写真採用時の料金の取り決め等の告示についての意見がなされる。(2頁参照)

* 唐木理事よりebook編集並びに、発刊状況を報告する。(右参照) また、ラティオとのコンテンツ販売システムの移管についての覚書の取り交わし、進捗状況の報告がされる。

■今後の対策事項として

* 財務部佐藤理事よりの、前三役の借入金の問題提起に、返済対策などの意見が交換される。

* 賦課金未納者への納入願いを郵送することにする。また、引き続き裁判費用へのカンパのお願いを続けることとする。

* 賦課金の自動送金(引き落とし)について、選択肢の一つとしてお願いすることとする。全国展開の「ゆうちょ銀行」が有力。詳細の検討を、財務部に委ねる。

■承認事項

- * 次号ニュースの発行について
- * キヤノンのカレンダー作品公募の掲載について
- * 丸大食品カタログ送付について
3件とも承認される。

今期発刊の 電子写真集 ebook

JPU ホームページからリンクされています。
または、社名検索から入れます。



7月に水越武「穂高一光と風」をebookジャパン並びにebookランドから発売しました。これを期に2社各々に表紙を変えることになりました。現在までに3冊が編集を完了し、発売に向け準備されています。

ebook ランド向け表紙



森田雅章「夢幻草花」
十月より発売中

ebook イニシアティブ ジャパン向け表紙



十二月十一日発売



「アンデス・インカの末裔」
関野吉晴
十月より発売中



十二月十一日発売



水越武
「HIMALAYA」
一月より発売予定



二月上旬発売予定

定員を上回る参加・この秋、2回のセミナー

教育事業部では、この秋、2回のセミナーを開催しました。両セミナーとも、組合員、一般とも参加料無料とし、JPU事務局も主催に加わり、事務局1階の会議室を借用して開き、2回とも定員40名をオーバーする盛況で、質疑も活発に行われました。

9月5日(土)には「記録メディア・光ディスク研究会」と題して、講師に(株)スタート・ラボ企画統括部・小林貴氏による、デジタル写真データの光ディスクへの安心保存と活用として、他の記録媒体との違いやブランド選択や構造など分かりやすくお話いただきました。終了時には、試供用にDVD 10枚セットが、出席者全員に提供されました。



〔記録メディア・光ディスク研究会〕会場風景 (撮影 林 敏英)

10月3日(土)は「レンズで変わる・デジタル新時代」講師(株)シグマ広報部・桑山輝明氏。写真のデジタル化に伴い、レンズ設計の見直しを進め製品化しているとのことでした。レンズ選びや撮影時の注意点等、大切なヒントをいただきました。(株)シグマからは、ニコン・キヤノンマウントのレンズを、各10本テスト用に借用しております。組合員への貸出しも始める予定となっています。詳細は、右5頁をご覧ください。



講師の桑山輝明氏「レンズで変わる・デジタル新時代」
セミナー会場にて 撮影 古川正夫 3点とも



JPU 組合員限定シグマレンズ貸し出しサービス

組合員サービスとして下記のシグマレンズ貸し出しを開始しました。

皆さんでテスト撮影して頂き、今後のシグマレンズ購入の参考にして頂ければ幸いです。

詳細

- 貸し出し期間：1 週間（基本）
- 本数：1 本（基本）「基本は相談可」
- 送料：使用者負担（往は着払い、復は元払い）
- 梱包、機材管理費 1,000 円（1 本）
但し事務局にて借用の場合は、機材管理 費のみ 500 円
（郵送の場合は返却時にレンズとともに 1,000 円を同梱して返却して下さい。）
- 必ず所定の「レンズ試用アンケート」に必要事項を記入して返却して下さい。
- 破損が確認された場合は修理代を請求させていただきます。
- このレンズ貸し出しはレンズテスト用であり、仕事などで使用してのトラブル等には一切責任を負いません。
- 貸出しは 21 年度までの賦課金納入完了組合員に限ります。
- 申込先：（協）日本写真家ユニオン事務局

Tel. 03-6382-6859 Fax. 03-3229-3060

Email: jpu@r2.dion.ne.jp

シグマレンズリスト

DC Lens (APS-C カメラ用)	ニコン	キャノン
◎ 10-20 mm F3.5 DC HSM	●	●
◎ 18-250mm F3.5-6.3 DC OS HSM	●	●
◎ 30mm F1.4 DC HSM	●	●

DG Lens (Full Size)

◎ 12-24mm F4.5-5.6 EX DG HSM	●	●
◎ 24-70mm F2.8 EX DG HSM	近日到着予定	●
◎ 70-200mm F2.8 II Macro HSM	近日到着予定	●
◎ 150-500mm F5.6-6.3 OS HSM	●	●
◎ 28mm F1.8 EX DG Macro	●	●
◎ 50mm F1.4 EX DG HSM	●	●
◎ Macro 50mm F2.8 EX DG	●	●
◎ Macro 70mm F2.8 EX DG	●	●

* 他のレンズ追加は事務局までお問い合わせ下さい。

（協）日本写真家ユニオン 教育事業部

第5回キヤノンカレンダー写真作家公募を実施

キヤノンマーケティングジャパン株式会社(社長:川崎正己、以下キヤノンMJ)は、第5回キヤノンカレンダー写真作家公募を11月2日より開始します。本公募は、2012年版のキヤノンカレンダーに掲載する風景写真の撮影者を選ぶもので、プロ写真家、アマチュア写真家を問わず応募することができます。

全応募作品の中から、2012年版キヤノンカレンダー写真作家を1名選出します。

選ばれた人には、2010年4月から翌2011年5月までの期間、カレンダー作品の撮りおろしを委嘱します。

■キヤノンカレンダーについて

キヤノングループは“共生”の理念のもと、人類と自然の調和を目指し、開発・生産から販売・サポートに至るあらゆる企業活動で、地球規模の環境保全に努めています。この企業理念に基づき、1987年よりキヤノンMJでは「自然との共生」をテーマにした、日本の風景写真をあしらった企業カレンダーを毎年制作しています。

2008年版キヤノンカレンダーより写真作家を公募制とし、これまでに4名の写真家に作品の撮影を委嘱しています。

○第4回公募(2011年版)カレンダー作家:渡辺幸雄氏(写真家)JPU 組合員

■第5回キヤノンカレンダー写真作家 公募期間

2009年11月2日(月)-2010年1月29日(金) 必着

■公募概要

- 2012年版キヤノンカレンダーで使用する写真の撮影者を募集します。
- 日本の風景を題材にした、応募者本人の作品を提出していただきます。
(提出作品は選考のための資料で、直接カレンダーには使用しません)
- 公募締切後の選考会にて、全応募者の中からカレンダー写真作家を1名選出します。
- 選考結果は、2010年3月上旬に応募者全員に書面にて連絡します。
- 選出された人に、2010年4月から2011年5月にかけてカレンダー作品の撮影を委嘱します。

■選考委員

キヤノンカレンダー写真作家選考委員

■応募規定

○応募資格

- ・プロ写真家、アマチュア写真家を問わず、どなたでも応募することができます。
- ・個人の応募に限ります。
- ・国籍・年齢は問いません(ただし日本在住であること)。
- ・写真撮影委嘱の後、2010年4月から2011年5月までの期間を通じて撮影のできる人。

○応募の条件

- ・応募作品:日本国内の風景写真
- ・選考対象:35mmサイズ以下のフィルムカメラ・デジタルカメラを使用
過去3年以内に撮影された写真(既に発表している作品でも応募可)
使用カメラは自由(キヤノン製のカメラでなくても応募可)
- ・提出方法:六切またはA4サイズにプリントしたもの(ポジフィルム・データによる応募不可)
- ・応募に必要な作品数:20点
- ・応募費用:無料(応募作品の送料は応募者本人の負担)

写真講座の教材に! 写真添削資料に! 各種コンテスト応募の参考に!

第3回 JPU 公募展の作品集・DVDが、よりお求めやすい価格になりました。

	販売価格	一般販売
作品集	3000円	1500円
DVD	1500円	750円
セット	3500円	1750円

組合員むけ卸価格

作品集	1250円
DVD	500円
セット	1500円



【この件に関するお問い合わせ先】応募希望の方

キヤノンカレンダー写真作家選考事務局

〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6

TEL:03-6719-9021 FAX:03-6719-8142

【インターネット】

キヤノンホームページ canon.jp

第5回キヤノンカレンダー写真作家公募ページ canon.jp/calendar2012

第4回キヤノンカレンダー写真作家・

渡辺幸雄組合員に聞く

11月2日から、第5回目となるキヤノンカレンダー写真作家の公募が始まりました。前回の公募でカレンダー作家として委嘱決定となった、組合員の渡辺幸雄さんに印象を聞いてみました。渡辺さんは現在長野県松本市に住み、山岳写真を主に活動を行っています。「この公募には第1回から応募していますが、撮影対象が山岳系ですから、大判、中判カメラでの撮影が多く規定（35mm）での作品として選考に期待をもてるようになったのは、デジタルでの作品応募をはじめた3回目からです」として、カレンダーとしての作品応募について「山岳という視点から少し離して、里山を含めた自然風景として20点の作品を組みました」2011年版ですから、まだ、来年5月まで撮影期間が残されていますが進行中の撮影の中でのこだわりは「特にいままでのスタイルを変えるのではなく、自分としての撮影行為の延長としてとらえています。作品を使用する目的ははっきりしていますから、その特質から四季折々の色は意識しています。仕事のサイクルとして1年間かけるのですが、季節は1回しかありませんから、撮り逃しはできないわけで、緊張感とやりがいがありますね。この経験は長い意味では、自分のステップアップのためにも貴重な1年だと思っています」と話し、いろんなチャンスを得るためには、「挑戦する気持ちが大事です」と締めくくってくれました。

（電話取材・総務部）

著作権レポート

JASRAC 創立 70 周年に思う

日本の著作権管理団体の草分けである JASRAC(日本音楽著作権協会)が、この11月18日に1939年の創立から70周年を迎えた。我が国の著作権法は、1899年に制定されており、1939年当時既に40年の時が経過していたのだが、その実情は、多くの国がそうであるように、国際社会で対等にお付き合いしていく必須条件として、国際著作権条約であるベルヌ条約に加盟させられ、それに伴って国内法を整備したということだった。ところが、その間は、実際には「著作権法あって著作権なし」という状態が続いていたのである。そして、この JASRAC 誕生には、更に「プラーゲ旋風」なる前史があった。

ドイツ大使館員として来日し、退官後には、松山高等学校や府立高等学校教員として日本に在留していたプラーゲ氏が、ヨーロッパの著作権団体や、有力出版社の代理人として、それまで当然のように無断で行

われていた翻訳や演奏等の著作権使用料の取り立てや権利侵害の告訴等をつぎつぎと行なったのである。これを善しとしない関係業界と国は、外国曲の著作権使用料が国外に持ち出されるのを「国益に反する」として躍起になって防ごうとして対プラーゲ作戦にキリキリ舞いさせられたのである。

結果的には、はからずも音楽著作者の権利意識の向上や、実際にこれを守る組織の結成、そして現在の「著作権等管理事業法」の前進である「仲介業務法」の制定、そしてついに「音楽著作権協会」の創立に至るのである。

このことは著作権使用上の大原則「**著作者の許しを得て、正当な対価を払って使用する**」がきちんと守られる新たな時代の幕開けであったと言えるだろう。この意味で、プラーゲ氏の活動を現時点で見直して再評価し、我が国著作権史上の恩人として顕彰するようなこともあってもいいのではないだろうか。

（副代表理事／あがたせいじ）

組合員情報

◆写真展案内

辻中 隆志写真展 「息吹」ーおおらかな自然の彩りー 長野県安曇野市豊科サティール3階サティールホール TEL0263-72-3177
2010年1月29日～2月3日
AM10:00～PM6:00

◆写真展予告

森田雅章写真展 「夢幻」
東京ミッドタウンフジフィルムフォトサロンスペース2 2010年4月23日～29日
森田 雅章写真展 「妖精たちの小宇宙」
名古屋フジフォトサロン
2010年6月25日～7月1日

●写真展情報などのニュース掲載は発行の時期に合わず、終了してからになってしまうケースもあり、組合員の皆様には力になれず申し訳なく思います。今後は、写真展開催が決まった段階で事務局までご連絡頂きますようお願いいたします。ホームページ全面リニューアルに伴い組合員情報もタイムリーに発信できるようになります。是非ご連絡のほど、よろしくお願い致します。

◆寄贈図書

下記出版物のご寄贈ありがとうございました。
[大宰治と旅する津軽] 大宰治 小松健一 新潮社編 新潮社刊、2009・9・20 発行、1,500円 発行所より
[田草川 讓 作品集 2010年版カレンダー「ふるさとの花すがた」] 制作 映像企画 タイゴ 2009・10月着 田草川氏より
[リュリシーズ] 鈴木龍一郎著 平凡社刊 2009・12・10 発行、3,800円 発行所より

◆住所変更のお知らせ

渡辺 幸雄 組合員
事務所兼自宅 新住所
〒390-0823 長野県松本市中山 3320-41
渡辺 幸雄写真事務所 (メールアドレスは変更なし)
電話・FAX 0263-31-3796

組合員の皆様へ

皆様の賦課金によって、組合は維持、運営され写真家ユニオンを支えています。今年度も残すところ3ヶ月と少し、年度末には2010年度の賦課金徴収が始まります。2009年度賦課金の納入がまだの組合員は、25000円の早めの納入をお願い致します。(財務担当 佐藤浩視)
郵便振替口座番号 0016-4-629078
口座名、協同組合日本写真家ユニオン)

◆組合員名簿訂正のお願い

先般発行いたしました2009年度組合員名簿に誤りがあり、ここにお詫びと訂正のお願いをいたします。誠に申し訳ございませんでした。
13 ページ、サ行 四宮 佑二組合員 名前誤
誤 祐二 正 佑二

編集後記

新理事会による懸案の整理と改革によって動き始めた2年間も、光陰矢の如しに過ぎようとしていますが、しだいに写真家ユニオンの方向性も見えてきたような気がします。

経済不況による停滞感、厳しい現実として様々な様相を呈していますが、愚痴るだけでは何も解決しません。写真家ユニオンも当然その只中にいるわけですが、一人の力より組織の力。プロ写真家の行く末の新たな指針を共に開いて行こうではありませんか。ホームページの全面リニューアルで、活動に弾みをつけたいものです。2010年を写真家の新たな可能性を見つけられる年にしたいですね。よいお年をお迎えください。

(ニュース編集 総務部)

2009年度年末・年始事務局留守状況 12月25日～1月5日

12日間の不在となりますが、事務局の電話は事務局担当理事の唐木の携帯電話に転送されますので、ご用件は承ります。

奥村裁判のカンパは専用口座へ

三井住友銀行 麹町支店 普通預金 8658442
口座名義 協同組合日本写真家ユニオン

裁判へのカンパありがとうございます。奥村裁判は年度内の決着にむけて、公判も大詰めとなりました。引き続き100000円のカンパを募っています。カンパ専用の銀行口座にお振込をお願いいたします。

(裁判対策委員会)



JPUでの取り扱い 残り僅少となりました。

ご注文はお早く!

JPU 価格 900円 ご注文は JPU 事務局へ
メール又は FAX03-3229-3060 で!

撮る自由 肖像権の霧を晴らす
JPU 前理事長 丹野章著

(協)日本写真家ユニオンでは、この著書の推薦団体として、注文を受付けており、販売価格1000円のところ、900円(送料別)にて扱っています。